

# “Eco-Forest Of the Toyota Boshoku Group”

Toward a company friendly  
to humans and the earth  
人と地球にやさしい会社を目指して

March 26, 2013  
General Administration Div.  
Toyota Boshoku Corporation

## 概 要

1. 会社紹介
2. トヨタ紡織の森づくり活動
3. トヨタ紡織グループ“環境の森”プロモ



# 1. 会社紹介

## トヨタ紡織株式会社 TOYOTA BOSHOKU CORPORATION

- 創 業 1918年1月29日
- 本 社 愛知県刈谷市豊田町1-1
- 事業内容 ①内装システムサプライヤー事業と  
自動車用内装部品  
②自動車用フィルター・  
パワートレーン機器部品  
③繊維・外装品など

### ■会社の規模

- ◇売上高 10,700億円（13年3月期予想）
- ◇経常利益 290億円（13年3月期予想）
- ◇社員数 単独8,291名 連結32,023名（12年9月末）
- ◇関係会社 世界93社（12年9月末）



取締役社長：豊田周平

## トヨタグループ発祥の企業

### トヨタ紡織の歴史

1918年（大正7年）豊田紡織株式会社創業

創業者：豊田佐吉



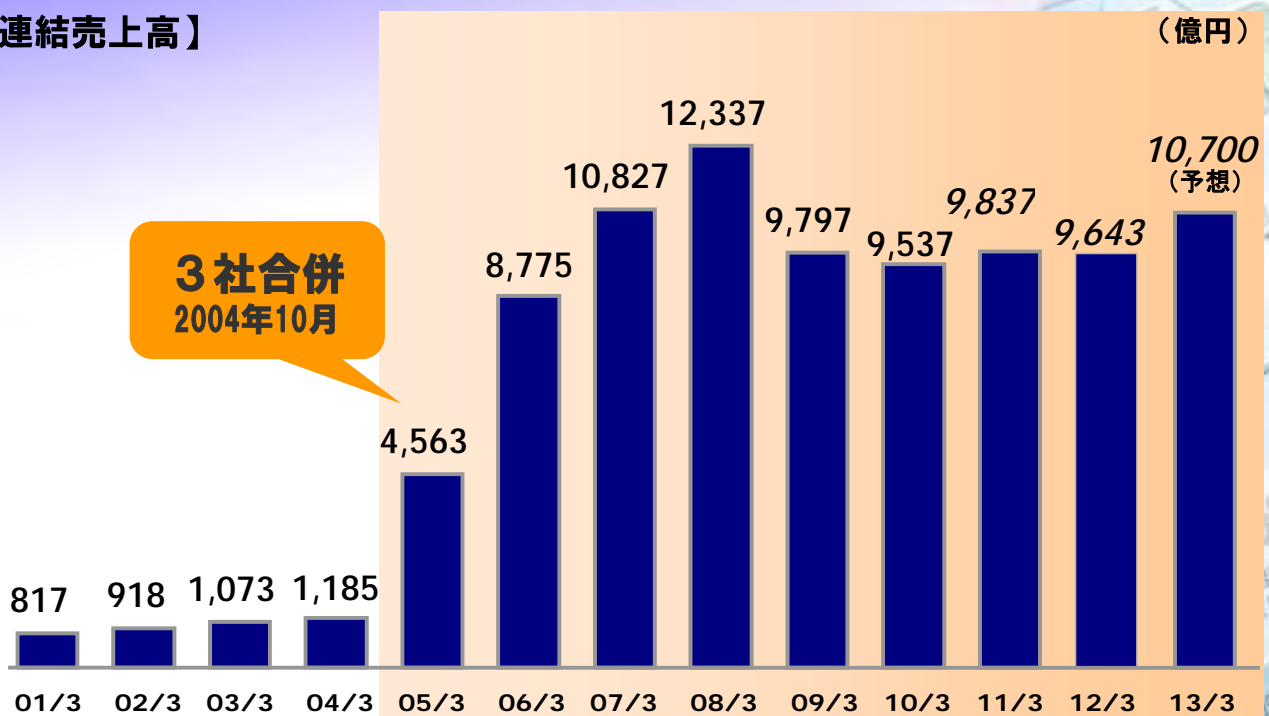
豊田 佐吉(1867年生誕)  
豊田紡織創業者  
G型自動織機を発明

2004年10月豊田紡織(株)・アラコ(株)内装事業・タカニチ(株)の  
3社合併により**トヨタ紡織株式会社**が誕生



## 合併以降、売上高は急拡大

【連結売上高】



# 自動車部品をシステムでお客様へ供給

## 内装品



内装システム



シート



ドアトリム



天井



天井イルミネーション



フロアカーペット

etc



## フィルター・パワートレイン機器部品



吸気システム



エアクリナー



シリンダーヘッドカバー



水平対向エンジン用  
インテークマニホールド



モーターコア構成部品



オイルフィルター



エアフィルター



キャビンエアフィルター  
etc

## 繊維・外装品



カーテンシールドエアバッグ



シートベルト  
ウェビング



補給用バンパー

etc

## ⑤国内の拠点

# 国内各地域に、19の拠点が 있습니다

(2012年12月末時点)

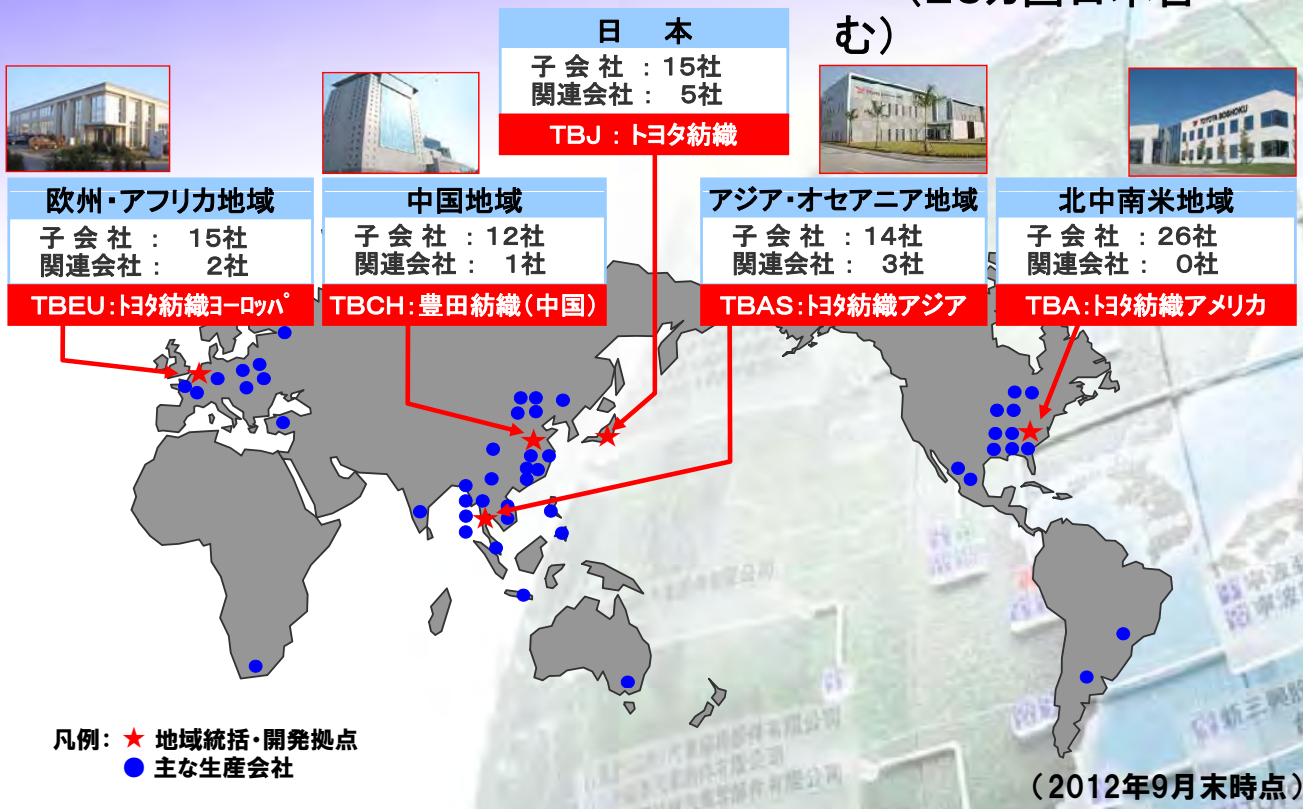


本社屋（愛知県刈谷市）

生産拠点	17
支社・営業所	2
合計	19



# グローバルで93社（日本以外73社）を展開 （23カ国日本含む）



## 2. トヨタ紡織の森づくり活動

## ■ 名 称

### トヨタ紡織グループ『環境の森』

- ・トヨタ紡織グループ『環境の森』プロモ(インドネシア)
- ・トヨタ紡織グループ『環境の森』加子母(かしも)(岐阜県)
- ・トヨタ紡織グループ『環境の森』脊振(せぶり)(佐賀県)
- ・トヨタ紡織グループ『環境の森』大衡(おおひら)(宮城県)
- ・トヨタ紡織グループ『環境の森』青土(おおつち)(滋賀県)



## ■ 活動理念

オールトヨタ紡織は、  
 社会との調和ある成長を目指すために、  
 よき企業市民として地域に貢献するとともに、  
 グローバル企業として地球の環境保全に寄与する。

## トヨタ紡織の『森づくり活動』

### 地域交流・社員参加型「社会貢献活動」

- ① 「植栽活動」および「森林整備活動」による  
 「森林および環境保全活動」



植栽  
(木を植える)

地域交流  
地域貢献

森林整備  
(間伐・下草刈)

- ② 活動を通じての「社員および家族」、  
 「地域コミュニティー」を巻き込んだ  
 「相互支援」、「地域交流」および  
 「青少年育成」活動



親子工作教室

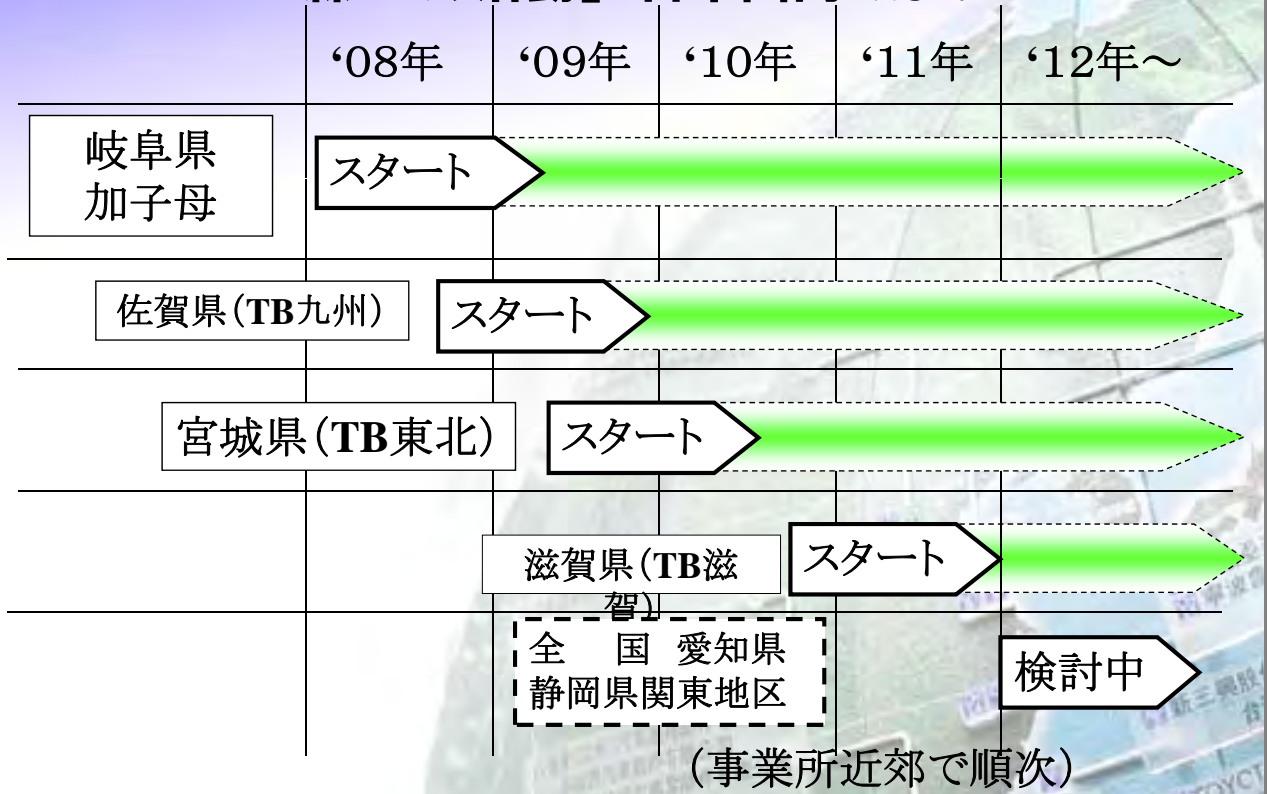


女子バスケットボール部  
バスケットボール教室

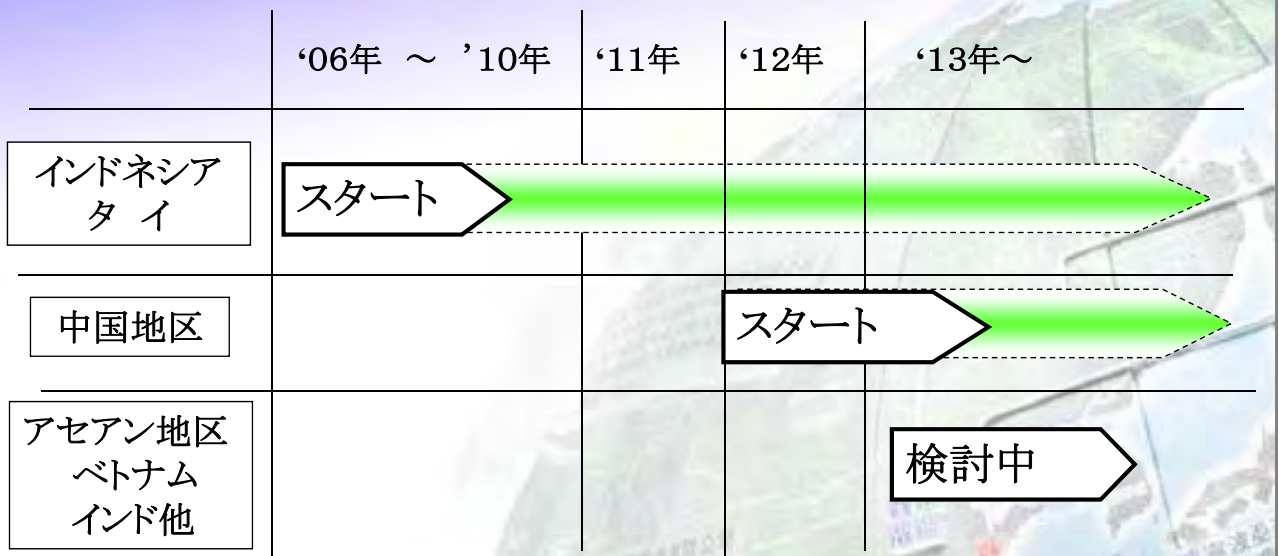


郷土料理体験  
栗きんとん作り

## トヨタ紡織グループ“環境の森”計画 『森づくり活動』 日本国内では？



## トヨタ紡織グループ“環境の森”計画 『森づくり活動』 海外では？



※中南米地区については、未定

(事業所近郊で順次)

### 3. トヨタ紡織グループ“環境の森”プロモ



トヨタ紡織の「森づくり活動」  
最初の取り組み

#### トヨタ紡織グループ“環境の森”プロモ(インドネシア)

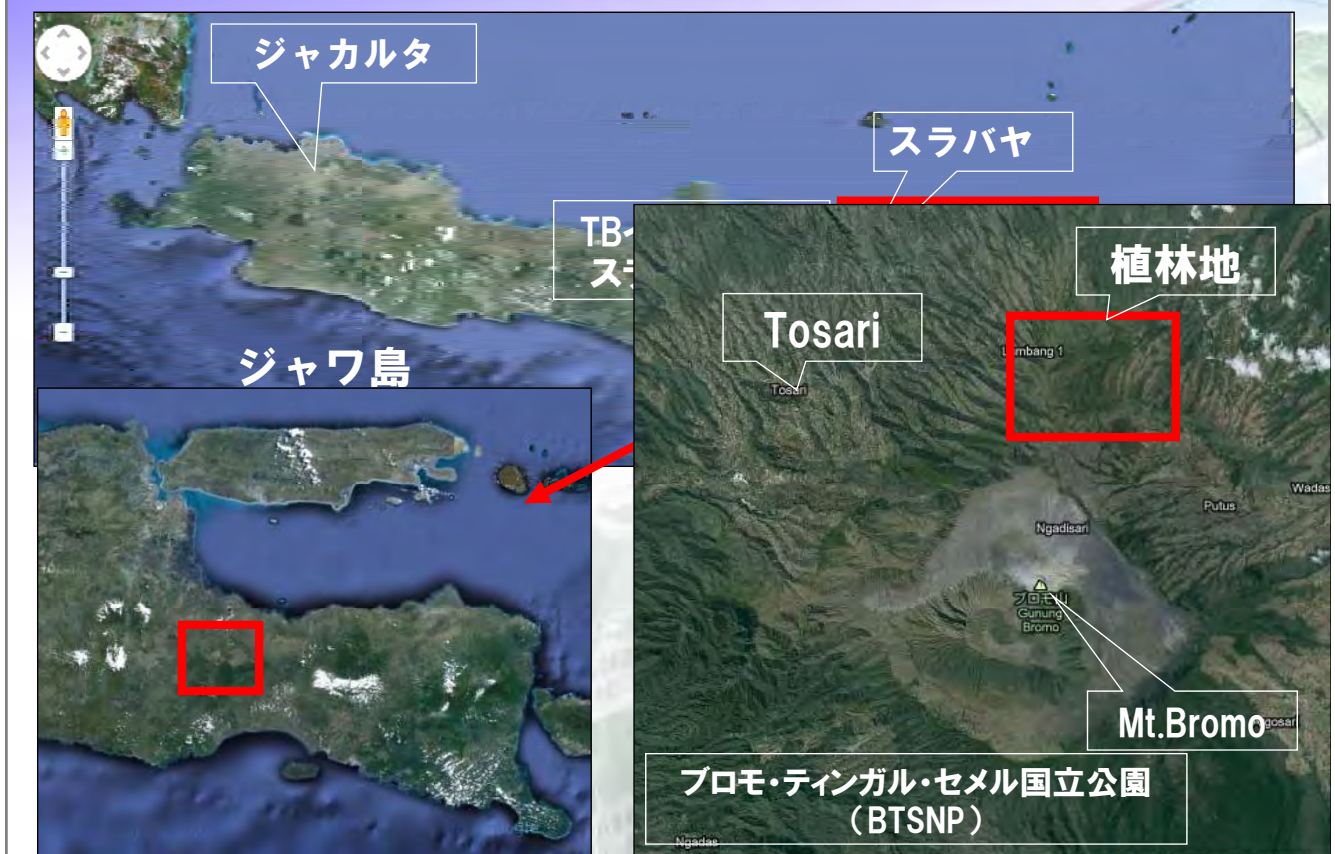
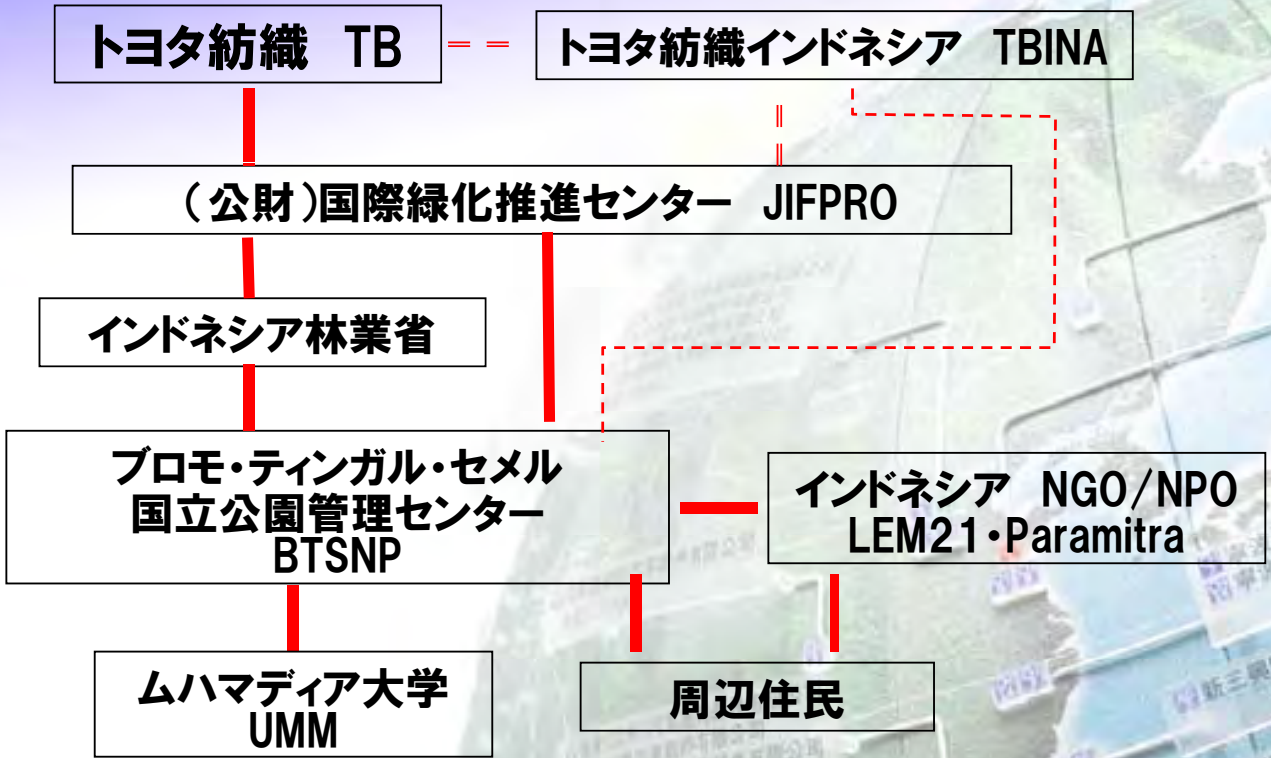
##### 活動概要

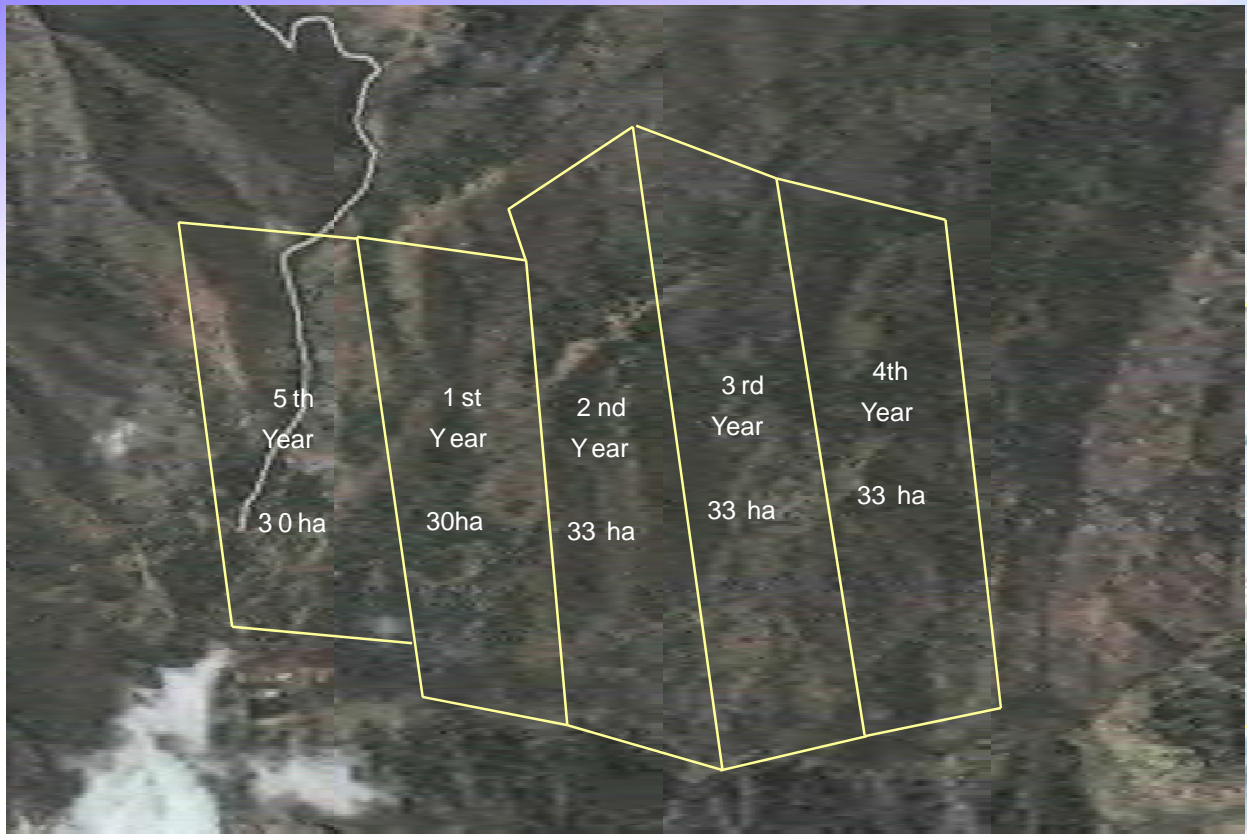
- 活動場所    プロモ・テンゲル・セメル国立公園北部地域  
                  (インドネシア、東ジャワ州アルゴウーラン地区)
- 面    積        150 ha (30ha/年)
- 協定期間    2006年8月1日から2011年3月31日(5年間)
- ね    ら    い    ①植林による森林荒廃地の修復  
                      ②植林による水源涵養地の保護  
                      ③植林活動への周辺住民雇用による生活支援活動
- 協力団体    公益財団法人国際緑化推進センター(JIFPRO)  
                  インドネシア林業省森林保護自然保全総局  
                  プロモ・ティンガル・セメル国立公園管理事務所  
                  LEM21(2006~2008) Paramitra(2009~2011)  
                  ムハマディア大学マラン校  
                  トヨタ紡織インドネシア社(Pt. TBINA 元PT.ABA)
- トヨタ紡織    総務部CSR推進室社会貢献推進グループ



# トヨタ紡織グループ“環境の森”プロモ

## ■ 体制





**■植林地の状況**

- 1. 地形 傾斜地・プロモ山(火山)の火口から約1km
- 2. 標高 2,500-2,700m 高地で森林限界に近い
- 3. 植生 ほぼ草地の森林荒廃地  
 ※保護活動前の違法伐採や森林火災が原因



**■気象条件**

- 1. 気候 熱帯(?)
- 2. 気温 3°C~20°C
- 3. 降雨量 6,600mm/年
- ※日本平均 1,800mm/年
- 世界平均 880mm/年

**■土性**

- 1. 火山灰土壌(黒色)

## 課 題

### ■高地・厳しい自然環境下での造林技術の確立

1. 適正な植栽時期
2. 最適樹種
3. 苗木の育成方法
4. 植栽方法
5. 火山ガス/霜害対策



### ■植林活動／森づくり活動の円滑な推進

1. 現地との円滑な情報交換
2. 「地域貢献」・「自然保護啓発」
  - ・周辺住民の活動参加
  - ・現地NGOによる環境、生活改善教育
3. 社員参加活動



## トヨタ紡織グループ“環境の森”プロモ(インドネシア)

### ■植林活動：周辺住民の参加協力

- ・面積 累計 159 ha 5ヵ年 30～33ha/年)
- ・植林数 累計 316,000本  
(50,000本/年 補植 5,000～15,000本/年)

### ■育苗技術 培養土の改良、取り木による育苗

### ■林道整備

### ■育成・保護活動

- ・下草刈 2回/年
- ・貯水池設置
- ・防火パトロール

### ■環境NGO：環境教育・生活改善教育

- ・LEM21、Paramitra (環境NGO)

### ■現地確認：JIFPRO・TBスタッフ

- 1～2回/年



## ■社員参加活動

### 1. 熱帯林育成募金(2007~2009年度)

・面積 : 9ha

・植林数 : 約19,000本(3ヵ年累計)

### 2. 植林体験ツアー(2008年1月)

### 3. インドネシア駐在社員による植樹会(2007年6月)



## ■成果報告会 : 2012年3月

### 1. 記念植樹式

### 2. 成果報告



### ■植林地の状況



Nursery

Sign\_01



2007年6月  
1年目(植林後3ヶ月)

### ■植林地の状況



■植林地の状況



■植林地の状況



## ■植林地の状況



2012年 3月  
(2006年度植林)

2007年6月  
(植林後3ヶ月)



## ■成 果

1. 熱帯高地(標高:2,500~2,700m)での植林による林地の回復
2. 現地スタッフの造林技術・意識の向上
  - ・育苗技術
  - ・2段階植林法の考案
3. 周辺住民の森林保護・保全に対する意識向上
  - ・住民による防火パトロール
  - ・居住地周辺への薪炭林の植林



- ↓
- ・地域と連携した活動に成長
  - ・プロモ山に隣接しエコツーリズムなどモデル林、研修林として活用

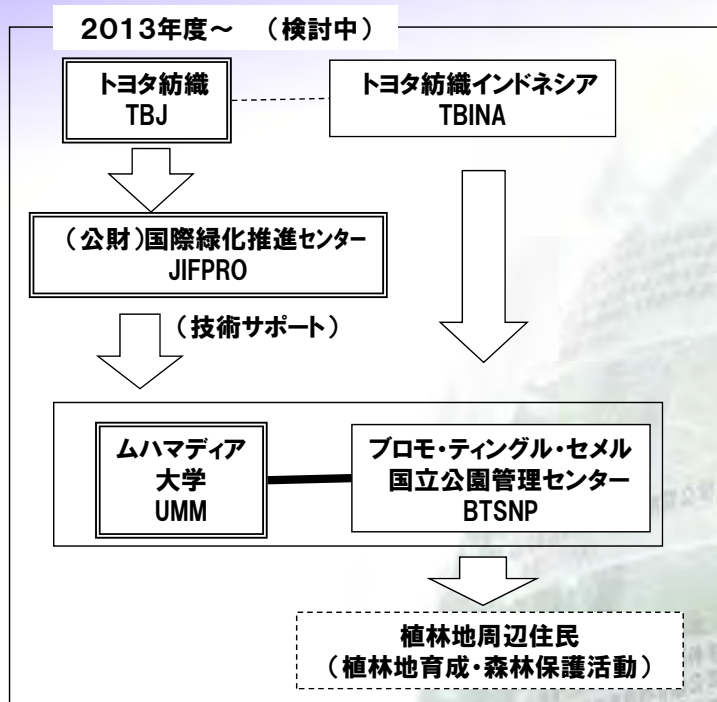
■今後の課題

1. 点在する植林不適地
  - ・植林後、乾季に枯損する原因究明
  - ・再植林による回復
2. 4～5年間隔で噴火するプロモ山の降灰対策
3. 植林地の保護管理活動の継続
  - ・資金援助システムの構築
4. プロモ地区を水源とする地域企業との連携
5. 周辺住民の環境教育生活改善支援活動の推進



■今後の計画

2013年度以降  
トヨタ紡織インドネシアと協力し森林保護支援活動を継続





本プロジェクトを実施するにあたり、ご協力いただいた  
現地インドネシア政府、プロモ・テンゲル・セメル国立公園  
管理事務所、ムハマディア大学、LEM21、Paramitraのスタッフの  
皆さん、クドウング村の皆さん、現地サポートのトヨタ紡織  
インドネシアの皆さん、全体総括および技術サポートと  
全体運営を担当していただき、今回の発表の機会与えて  
いただきました公益財団法人国際緑化推進センターの  
皆様にこの場を借りましてお礼申し上げますとともに、  
引き続き、ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。

**Thank you for your attention.**  
**Terima kasih**

March 26, 2013  
General Administration Div.  
Toyota Boshoku Corporation

明日の車室空間をデザインします。

